

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-15529 (P2003-15529A)
 【公開日】平成 15 年 1 月 17 日 (2003.1.17)
 【出願番号】特願 2001-195690 (P2001-195690)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 F 9/00

H 0 4 N 5/64

H 0 4 N 5/66

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 0 2

H 0 4 N 5/64 5 4 1 Z

H 0 4 N 5/66 1 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 12 日 (2004.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対向する基板間に放電性ガスを封入した放電セルがマトリックス状に配置され、前記放電セルの放電により映像を表示する表示面を有するプラズマディスプレイパネルと、

前記プラズマディスプレイパネルを保持する支持板と、

前記プラズマディスプレイパネルを前記支持板側へ押圧する押圧手段とを備え、

前記押圧手段により前記プラズマディスプレイパネルを押圧することにより、前記放電セルの放電に起因する振動で生じる前記プラズマディスプレイパネルからの可聴周波数帯域の騒音を低減するようになしたことを特徴とするプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項 2】

前記支持板は前記プラズマディスプレイパネルの表示面側とは逆側に配置され、

前記押圧手段は、前記プラズマディスプレイパネルの表示面側から、前記プラズマディスプレイパネルを前記支持板側へ押圧するように構成したことを特徴とする請求項 1 に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項 3】

前記プラズマディスプレイパネルの表示面は、映像の表示領域と非表示領域とからなり、前記押圧手段は、前記映像の非表示領域の少なくとも一部の領域に設けられたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 2 の何れか 1 項に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項 4】

前記押圧手段は、押圧力が調整可能な部材により構成されることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか 1 項に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項 5】

前記押圧手段は、熱伝導性の良い材質で構成され、前記押圧手段に前記プラズマディスプレイパネルの表示面側に発生した熱を放熱させる効果を持たせたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか 1 項に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。